

5-B サワラ(鱒)の巨木

ヒノキ科ヒノキ属
Chamaecyparis pisifera

(園芸種・ヒヨクヒバ[別名イトヒバ]を含む)

■サワラの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 9m 以上の単幹樹、同等評価のサワラの巨木。
- B 幹周おおむね 7~9m の単幹樹、同等評価のサワラの巨木。
- C B 評価以下のサワラの巨木。

■サワラの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	沢尻の大ヒノキ 写真 S-001	M10.0m(1.3m 2010)	34.3m	福島県いわき市川前町上楯字沢尻	国
B	白谷のサワラ 写真 S-002	8.0m	12m	熊本県上益城郡山都阿菅字白谷	なし
B	若宮のサワラ 写真 S-003	M8.08m(1.3m 2015)	45m	長野県木曾郡木曾町三岳	町
B	前平のサワラ 写真 S-004	M7.56m(1.3m 2008)	20m	長野県伊那市西箕輪前平	県
B	二荒山神社の夫婦サワラ 写真 S-005	7.3m	39m	福島県南会津郡南会津町八総	なし
B	有洞のサワラ 写真 S-006	M7.35m(上部 0.8 2015)	35m	愛知県豊田市有洞町向洞	市
B	柚口のサワラ 写真 S-007	M5.82m(1.3m 2008)	27m	山梨県山梨市牧丘町柚口山	なし
B	七本サワラ 写真 S-008	M10.4m(分岐 1.3m 2008)	43m	岐阜県高山市朝日町甲	県
C	早池峰山神社のサワラ 写真 S-009	6.9m	34m	岩手県遠野市附馬牛町大出	なし
C	オの神のサワラ 写真 S-010	M5.85m(1.3m 2007)	21m	岩手県花巻市大迫町内川目久出内	町
C	西金砂のサワラ 写真 S-011	M6.5m(1.3m 2015)	30m	茨城県常陸太田市上宮河内 西金砂神社	県
C	茂林寺のサワラ 写真 S-012	M6.13m(1.3m 2015)	27m	群馬県館林市堀工町	なし
C	三峯神社のサワラ 写真 S-013	6.3m	30m	埼玉県秩父市三峰 三峰山山頂	なし
C	御陵塚のサワラ 写真 S-014	6.4m	25m	長野県伊那郡辰野町平出越道	町
C	神行阿弥陀堂の大サワラ	5.3m	37m	群馬県多賀郡上野村	県
C	小篠のイトヒバ 写真 S-015	M3.8m(1.3m 2008)	18m	山梨県大月市猿橋町小篠 651	市
C	崇禅寺のイトヒバ	6.1m	20m	群馬県桐生市川内町 2-651	県
C	戸増のヒヨクヒバ	5.1m	18m	広島県庄原市口和町竹地谷本谷	市

サワラの巨木位置図



写真 S-001

日本一のサワラ

さわじり 沢尻の大ヒノキ

天然記念物の名称は「沢尻の大ヒノキ」だが、樹種はサワラである。

2002年時には、主幹に巨大なキツタがからまり、幹が全く見えなかった。2010年時には、絡まったツルの根元を切断するなどして取除かれ、日本一のサワラ本来の姿が見えた。

主幹はもともと何本かの分岐幹であったものが、巨大化するに従ってお互いに癒着して、単幹樹になったものと推察される。現在その名残が見られ、前面にある細い幹が3m程で分離しているのがわかり、明らかに枝ではなく、分岐幹でもない。上部では二本の主幹がきれいに並立する姿が遠目に確認でき、もともとの樹形が想像される。





▲写真 S-002
しろだに
白谷のサワラ

見事な樹形のサワラである。全国屈指のサワラであるにもかかわらず、資料にほとんど登場しない。2014年、調査を依頼すると、巨木は竹藪の中に埋もれるように鎮座していた。(写真・渡辺典博)



◀写真 S-003
わかみや
若宮のサワラ

御嶽神社の里宮である若宮のご神木で、見事な単幹サワラ。樹高では日本一かも知れない。



▲写真 S-005
ふたらさん
二荒山神社の
めおと
夫婦サワラ

二本が並立して立っていて、見事な景観である。(写真・石田徹)



◀写真 S-004
まえひら
前平のサワラ

吹上神社のご神木で、巨大なフジが巻付いている。



▼写真 S-007
そまぐち
杣口のサワラ

珍しい天然サワラで、この巨木は道路際にあり、一帯は天然サワラの群生地として貴重な存在。



写真 S-006▶
うとう
有洞のサワラ

古い石仏が多い堂の前に立つ見事な単幹樹である。



▲写真 S-008

ななほん
七本サワラ

古い塚の上に6本のサワラが寄植えされ、もう一本サクラがあったが、大正末期に枯死した。



▲写真 S-011

にしかなさ
西金砂のサワラ

西金砂のイチョウの傍にあって、傾斜して立っている。



◀写真 S-014

ごりょうづか
御陵塚のサワラ

古墳の上に立つ単幹樹である。
(写真・Web画像)



▲写真 S-009

はやちね
早池峰神社のサワラ

拝殿の前、イチイの巨木と並んで立つ。双方ご神木である。
(写真・Web画像)



▲写真 S-012

もりんじ
茂林寺のサワラ

狸で有名な寺の境内にある見事な単幹樹である。境内にはサルスベリ、ラカンマキ等の巨木がある。



▲写真 S-013

みつみね
三峯神社のサワラ

標高1,100mの三峰山山頂にある神社境内に立つ見事な単幹樹。
(写真・Web画像)

◀写真 S-015

小篠のイトヒバ



▲写真 S-010

さいのかみ
才の神のサワラ

才の神は、村の入口にあって、悪霊を退散させる道祖神である。サワラは見事な単幹樹である。